ニュースリリース
2026 年 11 月 10 日

群馬県みなかみ町の須田貝山林にて社員による植樹を実施

株式会社ニップン(社長：大田尾 亨)は、群馬県みなかみ町の須田貝山林において、2024 年に続き 2 回目となる当社社員による植樹を 2026 年 10 月 20 日(火)に実施しました。本活動は、当社と日本製紙木材株式会社(社長：廿日出 崇)が 2024 年 8 月 1 日(木)に締結した、「ニップンの水源地域における森林経営活動の協働等に関する覚書」に基づいて実施したものです。

当社は、小麦をはじめとする穀物や野菜など、さまざまな自然の恵みに支えられて事業を行っており、マテリアリティの一つに「環境保護への取り組み」を掲げています。

このたび、その取り組みの一環として、自然環境や生物多様性の保全の重要性について、社員の知識向上と意識啓発を図ることを目的に、森林と森林資源に関する勉強会および植樹を実施しました。

植樹に先立って行った勉強会では、日本製紙グループの方に森林が有する水源涵養機能などについて講演していただきました。その後の植樹では、当社社員 21 名が日本製紙木材株式会社所有の須田貝山林にカラマツの苗 240 本を植えました。植樹後には、株式会社 JR 東日本クロスステーションにご協力いただき、JR 東日本クロスステーション みなかみ工場を見学させていただきました。ミネラルウォーター製造に関する工場の見学を通じて、水源地域との関わりやサステナビリティに関する取り組みについてお話を伺い、社員が理解を深める貴重な機会となりました。



勉強会の様子



当社社員が植樹する様子

また、当社は環境課題への対応をさらに強化するため、2026 年 10 月 1 日(木)付で当社グループの「環境方針」を改訂し、当社ホームページで公開しました。

今回の改訂では、環境関連法規制などの遵守を明確化するとともに、温室効果ガス排出削減、エネルギーの持続可能な利用、生物多様性および生態系サービスへの配慮など、環境課題への対応を強化しています。

当社は、今後も事業活動が自然の恵みに支えられていることを認識し、改訂した環境方針に基づき、自然環境や生物多様性の保全をはじめとするサステナビリティの取り組みに一層注力してまいります。

▼詳しくは、当社ホームページからご覧いただけます
https://www.nippn.co.jp/csr/environment/environment_management/1222308_10492.html